

支援学校中学部 国語

解答についての注意点

- 1 問題は、特別支援教育に関する大問 **1**、教科等に関する大問 **2**、大問 **5** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1**、大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4**、**5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **1**、大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は **1**」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 **1** の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、通知文の名称等や、文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

1

特別支援教育に関する近年の動向等について、次の（１）～（７）の問いに答えよ。

（１）次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」（平成29年４月告示 文部科学省）「第１章 総則 第３節 教育課程の編成 ３ 教育課程の編成における共通的事項（３）指導計画の作成等に当たったの配慮事項」の記述の一部である。正しい内容のものをすべて挙げたとき、その組合せとして正しいものはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は 1

ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。

イ 視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部において、学年の内容を２学年まとめて示した教科及び外国語活動については、当該学年間を見通して、児童や学校、地域の実態に応じ、児童の障害の状態や特性及び心身の発達段階等を考慮しつつ、効果的、段階的に指導するようにすること。

ウ 小学部においては、児童の実態等を考慮し、指導の効果を高めるため、児童の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等並びに指導内容の関連性等を踏まえつつ、合科的・関連的な指導を進めること。

エ 中学部において、道徳科、外国語活動、特別活動及び自立活動の一部又は全部を合わせて指導を行う場合、道徳科、外国語活動、特別活動及び自立活動に示す内容を基に、生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。また、各教科の指導を行う場合には、道徳科、外国語活動、特別活動及び自立活動と併せて合科的・関連的な指導をすることがないようにしなければならない。

1 アーイーウ

2 アーウーエ

3 エ

4 イーウーエ

5 アーイ

(2) 次の各文は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成30年3月告示 文部科学省）「第2章 今回の改訂の要点 2 障害の捉え方と自立活動」の記述の一部である。障害の捉え方の変化やその変化と自立活動とのかかわりに関する記述の内容として正しい内容のものをすべて挙げたとき、その組合せとして正しいものはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「医学モデル」の考え方を踏まえた障害の捉え方については、WHOにおいてICFが採択されてから、引き続き、現在まで大切にされている。

イ ICFの特徴の一つは、環境因子等を適切に考慮する点にあるが、成長期にある幼児児童生徒の実態は様々に変化するので、それらを見極めながら環境を構成したり整えたりする必要がある。

ウ ICFでは、人間の生活機能は「精神機能」、「運動機能」、「身体構造」の三つの要素で構成されており、それらの生活機能に障害がある状態を「障害」と捉えている。

エ 自立活動の指導をする際には、生活機能の側面と障害による困難の側面とともに、それらと個人因子や環境因子等とのかかわりなども踏まえて、個々の幼児児童生徒の実態を把握し、具体的な指導内容を設定するのである。

- 1 アーイ
- 2 アーウ
- 3 アーエ
- 4 イーウ
- 5 イーエ

(3) 次の各文は、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」(令和7年4月25日改正)における「第三条」の記述である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。 解答番号は 3

ア 医療的ケア児及びその家族に対する支援は、医療的ケア児の日常生活及び社会生活を社会全体で支えることを旨として行われなければならない。

イ 医療的ケア児及びその家族に対する支援は、医療的ケア児が心身の健康と安全を確保された上で個別に教育を受けられるよう最大限に配慮しつつ適切に教育に係る支援が行われる等、個々の医療的ケア児の年齢、必要とする医療的ケアの種類及び生活の実態に応じて、かつ、医療、保健、福祉、教育、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体相互の緊密な連携の下に、切れ目なく行われなければならない。

ウ 医療的ケア児及びその家族に対する支援は、医療的ケア児が十八歳に達し、又は高等学校等を卒業した後も適切な保健医療サービス及び福祉サービスを受けながら日常生活及び社会生活を営むことができるようにすることにも配慮して行われなければならない。

エ 医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を講ずるに当たっては、医療的ケア児及びその保護者(親権を行う者、未成年後見人その他の者で、医療的ケア児を現に監護するものをいう。第十条第二項において同じ。)の意思を最大限に尊重しなければならない。

オ 医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を講ずるに当たっては、医療的ケア児及びその家族がその居住する地域にかかわらず等しく適切な支援を受けられることを旨としなければならない。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	×	○	○	○	○
2	○	×	×	×	×
3	×	×	×	○	×
4	○	○	○	×	○
5	○	×	○	○	○

(4) 次の各文は、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(令和3年6月 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)における「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方 1 障害のある子供の教育に求められること(2) 就学に関する新しい支援の方向性」の記述の一部である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

4

ア インクルーシブ教育システムの構築のためには、障害のある子供と障害のない子供が、可能な限り同じ場で共に学ぶことを目指すべきである。

イ それぞれの子供が、授業内容を理解し、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうかという最も本質的な視点に立つことが重要である。

ウ 教育的ニーズとは、子供一人一人の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を把握して、具体的にどのような特別な指導内容や教育上の合理的配慮を含む支援の内容が必要とされるかということを検討することと整理されるものである。

エ 対象となる子供の教育的ニーズを整理する際、最も大切にしなければならないことは、子供の自立と社会参加を見据え、その時点でその子供に最も必要な教育を提供することである。

オ 義務教育段階において、障害のある子供と障害のない子供が共に学ぶ取組を、年間を通じて計画的に実施することが必要である。ただし、義務教育終了後は、その限りではない。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	○	○	○	×	×
2	×	×	×	×	○
3	○	○	○	○	×
4	○	×	×	×	○
5	×	○	○	○	×

(5) 次の各文は、「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き」(令和2年6月改訂 文部科学省)における「1. 通告までの流れ (4) 子供や保護者から聞き取りをする場合」の記述の一部である。正しい内容のものをすべて挙げたとき、その組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 外傷(打撲傷、あざ(内出血)、骨折、刺傷、やけどなど様々)がある場合、担任や養護教諭などによって子供から聞き取りを行うことも考えられます。その際は子供が答えやすいように、「はい」か「いいえ」で答えられるような形式で尋ねることが適切です。

イ 子供は自分の置かれている状況が客観視できず「虐待されている」とは認識していないこと、心身の安全・安心が確保されておらず虐待を受ける危険性がある状況では「虐待されている」とは言い出せないこと、どんなに辛くても自分から保護者を悪く言うことができないでいること、保護者から見捨てられる不安をもっていること、一度虐待を受けていることを認めても後に撤回することなどが想定されるので、幼児児童生徒の言葉だけで判断しないように留意する必要があります。

ウ 知的障害や発達障害のある子供については、自分のされていることが虐待と認識できない場合があるため、子供の障害の状態及び発達の段階や特性等を考慮し、周囲がより丁寧かつ積極的に介入する必要があります。

エ 虐待に関する本人からの詳しい聞き取りは児童相談所職員や市町村(虐待対応担当課)職員などの専門の部署が対応する方が望ましく、学校関係者はあまり踏み込んだ聴取や度重なる質問はしないほうがよいと考えられます。

オ 幼児児童生徒の負った外傷(打撲傷、あざ(内出血)、骨折、刺傷、やけどなど様々)の原因が不明確な場合は、保護者に対して、「お子さんは〇〇〇と言っています」と確認をして、状況を把握するようにしてください。

- 1 アーイーオ
- 2 イーウーエ
- 3 アーウーエ
- 4 イーオ
- 5 アーウーエーオ

(6) 次の表は、「学校教育法施行令」(令和5年4月1日改正)における「第二十二条の三」法第七十五条の政令で定める視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の障害の程度に関する表である。空欄ア～オに当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は 6

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね ア 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね イ デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに ウ 援助を必要とする程度のも 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても エ 等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は オ を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して カ を必要とする程度のもの

備考

- 一 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によって測定する。
- 二 聴力の測定は、日本産業規格によるオーディオメータによる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	〇・〇三	二五	常に	歩行、筆記	運動制限
2	〇・三	六〇	頻繁に	歩行、筆記	生活規制
3	〇・〇三	六〇	常に	食事、排泄	運動制限
4	〇・三	六〇	頻繁に	歩行、筆記	運動制限
5	〇・三	二五	頻繁に	食事、排泄	生活規制

(7) 次の各文は、「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会 報告書」(令和5年3月30日 厚生労働省)における「3. 強度行動障害を有する者の地域における支援体制の在り方 (1) 支援人材のさらなる専門性の向上」の記述の一部である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 7

ア 強度行動障害を有する者への支援においては、障害特性を正しく理解し、機能的なアセスメントを行う等の根拠のある標準的な支援を行うことを基本として、行動上の課題を引き起こさないための予防的な観点も含めて人材育成を進めていくことが重要である。

イ 強度行動障害を有する者へ適切な支援を継続的に行っていく上では、統一した支援を一貫して行う必要があるため、特定の職員で支援を行うことが重要である。

ウ 強度行動障害を有する者の家族は、家庭での対応等において心身ともに疲弊していることが多い。家族支援を進めることも必要であり、家庭環境のアセスメントも行い、家族も含めて、困り感やニーズの把握を行い、支援にあたることが重要である。

エ 強度行動障害を有する者への支援においては、統一した支援を一貫して行うことが重要であるが、それを支えるのはアセスメントであり、客観的なアセスメントを行い、それに基づいて支援計画を立て、支援を実行し、そして支援を評価して次につなげることが重要である。

オ 強度行動障害を有する者への支援において、不適応行動が見られた際は、その行動が適切でないことを本人が認識できるよう促すため、まずは行動自体を止め、抑圧的な対応をすることが重要である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	×	×	○	○	
2	○	×	○	×	○
3	×	○	○	×	×
4	○	×	○	○	×
5	○	○	×	○	○

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：歴史と風土の中で

山本学治著 鹿島出版会

7ページ9行目から10ページの終わりまで

（山本学治『歴史と風土の中で』より）

注 ヴォールト ― アーチ構造を利用した曲面天井。アーチ形天井。

(1) 部 a、c のカタカナを漢字になおすとき、同じ漢字を含むものはどれか。1～5 からそれぞれ一つ選べ。解答番号は、a は 、b は 、c は

a イトナまれる

- | | | | |
|---|---------------|---|-----------------|
| 1 | ジアイに満ちたまなざし。 | 2 | 放送セツビを点検する。 |
| 3 | ショウギョウの盛んな地域。 | 4 | 二つのジンエイが拮抗した議論。 |
| 5 | 飛行機をソウジウする。 | | |

b カト期

- | | | | |
|---|----------------|---|----------------|
| 1 | 権利をジョウトする。 | 2 | 自分は成長のトジョウにある。 |
| 3 | 白いペンキで壁をトソウする。 | 4 | ホクト七星を観測する。 |
| 5 | 創作によって心情をトロする。 | | |

c コウソウ

- | | | | |
|---|----------------|---|------------------|
| 1 | 氷河期のチソウを観察する。 | 2 | じっくりソウダンして決める。 |
| 3 | 珍しい動物にソウグウする。 | 4 | シャソウから見える景色を楽しむ。 |
| 5 | ソウソフと語り合った思い出。 | | |

(2) 部①について説明したものととして、最も適切なものはどれか。1～5 から一つ選べ。

解答番号は

- 1 一度できあがった建築像が、新しい時代の人間の生活や意識および建物を生産する特定の生産方法や組織に適合すべく修正されようとする。
- 2 ある時代における建築のテーマと方法が消えた後にも残存している建築が、新しい時代における建築の不均衡を解消しようとする。
- 3 ある時代と残存した建築との間の不均衡が、新しい時代の現実の条件に適合すべく修正され、時代を超越した建築像が作りあげられる。
- 4 建物に対する特定の要求をもったある時代の人間の生活や意識が、その時代の建物を生産する特定の生産方法と組織を生み出そうとすること。
- 5 ある時代と、その時代まで残存した建築像との間に生じた不均衡、不都合な状態が、さらに次の時代に生まれた建築像によって修正されていく。

(3) — 部②について述べた内容として、最も適切なものはどれか。 1 から一つ選べ。

解答番号は 12

- 1 近代以前の建築の「現実化」は各時代の生活のあり方や感情、材料や生産方式に基づいていたが、一九世紀のそれは、残存した建築と外から与えられた建築との不均衡に基づいていた。
- 2 一九世紀における建築の「近代化」は、科学的な考え方、産業革命、それに基づく工業資本主義体制によるものであり、変革の著しさという点において現代の建築と大きく異なっていた。
- 3 近代社会特有の人間の感情のあり方に由来する建築の「近代化」によって、一九世紀の鉄骨アーチは、ローマからルネサンスに至る時代の石造ヴォールトの十倍以上の速さで発展した。
- 4 近代初期の建築の現実化の特徴は、近代の建築が基づくべき条件とそれ以降の建築が基づくべき条件の差の著しさにあり、この点によって近代建築運動が発生することとなった。
- 5 十九世紀の社会構造や生産手段の変革のテンポと規模は、それ以前のすべての歴史的發展と比較して著しく大きかったため、建築の「近代化」には意識的な秩序付けと整理が必要であった。

(4) 本文中の空欄 A、B に当てはまる語の組合せとして最も適切なものはどれか。

1 から 5 から一つ選べ。解答番号は 13

- | | | | | |
|---|---|---------|---|--------|
| 1 | A | 歴史的な再帰性 | B | 生産の工業化 |
| 2 | A | 経済的な合理性 | B | 生産の工業化 |
| 3 | A | 心理的な包摂性 | B | 生産の工業化 |
| 4 | A | 経済的な合理性 | B | 意匠の個別化 |
| 5 | A | 歴史的な再帰性 | B | 意匠の個別化 |

- (5) — 部③について述べた内容として、最も適切なものはどれか。1〜5から一つ選べ。

解答番号は

14

- 1 近代建築運動において、グロピウスが近代における「工業生産」を新しい建築構成の基本として設定し、ミースが近代的材料である「鉄・ガラス・コンクリート」を新しい建築素材として設定したのは、近代の現実に適合する新しい造型表現を模索しようとしたからである。
- 2 一九二〇年代の現実において、グロピウスの住宅工業は不成功に終わり、コルビュジエの賃貸住宅には数年間住む人がなかったが、これらの実践は、各々が捕えた近代の特性という前提に立ち、過去の建築と全く異なる新しい建築のタイプを骨格づけ、その発展の方向を明らかにするものであった。
- 3 グロピウスやミース、デースブルヒのような建築家たちは、近代化・現実化への抽象的・一般的な捕え方を、新しい建築構成や新しい建築素材、新しい造型表現の基本という形でそれぞれ具体的に現実化することによって、過去の建築を否定することができた。
- 4 コルビュジエは、「人間」「人間の生活・都市」という目的を設定し、一九二〇年代の新しい現実をあらゆる具体性において捕えることに成功した一方で、その賃貸住宅に数年間住む人がなかった事実が示すように、人々の理解を得ることはできなかった。
- 5 コルビュジエやグロピウス、ミースやライトのような人々が、近代の基本的傾向を一つの形にまとめることができたのは、残存する過去の建築の非近代的な性質を指摘し、その性質を近代の一般的特性として抽象することができたからである。

3

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…伝習録

岩波書店

379ページ8行目から12行目まで

(『伝習録』より)

〔注〕

種徳

― 人格を形成する。

漏泄

― 漏れ減ること。

勿助勿忘

― 手助けをせず、忘れもせず。

培植

― 培養。

刊落

― 枝打ちのこと。

(1) ― 部①を書き下し文にしたとき、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 15

- 1 樹を種うる者は必ず其の心を養ひ、徳を種うる者は必ず其の根に培ふ。
- 2 樹を種うる者は必ず其の根に培ひ、徳を種うる者は必ず其の心を養ふ。
- 3 樹は者が種うるに必ず其の根に培ひ、徳は者が種うるに必ず其の心を養ふ。
- 4 樹は者に必ず種に培ひて其の根とし、徳は者に必ず種を養ひて其の心とす。
- 5 樹者は其れ根を必ず種に培ふこととし、徳者は其れ心を必ず種を養ふこととす。

- (2) — 部②③④について、本文中における読みを送り仮名も含めて現代仮名遣いで表したときの組合せとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 16

1	②	それ	③	ごとく	④	ようやく
2	②	それ	③	もし	④	しばらく
3	②	かの	③	もし	④	ようやく
4	②	かの	③	もし	④	しばらく
5	②	かの	③	ごとく	④	ようやく

- (3) — 部⑤の解釈として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 17

- 1 詩文が精神の方に移ってしまふ。
- 2 精神が外好の方に移ってしまふ。
- 3 外好が詩文の方に移ってしまふ。
- 4 精神が詩文の方に移ってしまふ。
- 5 詩文が外好の方に移ってしまふ。

- (4) — 部⑥を「またすべからくかんらくすべく」と訓読するとき、返り点の施し方として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 18

- 1 亦須_レ刊落 2 亦_レ須刊落 3 亦須_レ刊落 4 亦_二須刊落_一 5 亦須_レ刊落

- (5) 本文の要旨として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 19

- 1 樹木の根幹や枝葉を大きく育てるには、まず樹木について詳しく記された書物をできるだけたくさん読んで、樹木について深く学ぶのがよい。
- 2 樹木の無用の枝を切り落とすようなことは、学問ではあつてはならないことで、たくさんすることに興味や関心をもち、幅広く学ぶのがよい。
- 3 樹木を育てるとき、適度に水と肥料をやり、あとは自然に任せておけば勝手に大きくなるように、成長のためには、何事も放っておくのがよい。
- 4 樹木を育てるように自らの心を育てるためには、いったんたくさんすることに興味や関心をもったうえで、そこから志を一つに絞るのがよい。
- 5 樹木を育てるときに、無用の枝を切り落とすことがよいのと同じで、学問をするときも、余計な誘惑は捨てて、一つのことに力を注ぐのがよい。

次の文章は、四条大納言が、藤原道長（殿）の娘である彰子（女院）の入内に際して、用意された屏風に貼る色紙形に書くための和歌を詠んだときの状況を描いたものである。これを読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：古本説話集（上）

講談社

70ページ2行目から72ページ1行目まで

（『古本説話集』より）

〔注〕

ひら

― 屏風の一面。

四条大納言

― 藤原公任。詩歌・管弦にすぐれ、当代随一の歌人と称された。

書くべきよしなし給ひければ

― ここでは、「歌を書くようにとお命じになったが」の意。

帥殿

― 藤原伊周。道長の甥。

(1) 〓部A、Bの本文における意味として最も適切なものはどれか。ア～オからそれぞれ一つ選べ。

A

ア 穏やかに
イ 怒って
ウ 心を込めて
エ 懸命に
オ 意地悪く

B

ア しばらくして
イ 驚くことに
ウ 高らかに
エ さつと
オ 結局

(2) 〓部a～eの敬語の種類と敬意の方向を説明したものとして最も適切なものはどれか。

ア～オから一つ選べ。

ア aは尊敬語で、語り手から帝への敬意を表している。
イ bは謙譲語で、道長から四条大納言への敬意を表している。
ウ cは謙譲語で、語り手から権大納言行成への敬意を表している。
エ dは丁寧語で、四条大納言から彰子への敬意を表している。
オ eは謙譲語で、語り手から道長への敬意を表している。

(3) 〓部①を、必要な内容を補い、「さりとも」の後に省略されている内容を明らかにして現代語訳せよ。

(4) 〓部②とあるが、ここで四条大納言が和歌を読み洩った理由として適切なものはどれか。

ア～オから二つ選べ。

ア 遅参して反感を買った自分が晴れの席で和歌を詠むことなど不適當だから。
イ 熟考して詠んだ和歌に対する道長からの不当な叱責に気分を害したから。
ウ 秀歌の中に自分の不出来な和歌が書かれると後世に悪評が残るから。
エ 自信作である和歌に添えるふさわしい詞書が思いつかないから。
オ 際立った和歌を詠めないならばいつそ詠まないほうがよいから。

(5) 和歌「むらさきの雲とぞみゆる藤の花いかなるやどのしるしなるらん」について説明したものとして、最も適切なものはどれか。ア〜オから一つ選べ。

ア 「紫の雲がまるで藤の花であるかのように見える。この家はどこにあるのだろうか、この上なく高いところにあるのだ」という意味の和歌であり、宮中を表す紫の雲と、庭に咲く藤の花を重ね、道長一族の隆盛を祈ることを意図している。

イ 「藤の花の美しさを隠す不吉な紫色の雲はどの家にかかっているのだろうか、いや、どの家にもかかっていない」という意味の和歌であり、道長一族を苦しめてきた不遇が去り、今後栄華を極めるであろうことを予言する意図が込められている。

ウ 「紫の雲かとみえるほど美しく咲いている藤の花は、どのようなめでたい家のしるしなのだろうか」という意味の和歌であり、宮中を表す紫の雲と屏風に描かれた藤の花を重ねて、ますます栄えていく道長一族への祝賀を表すことを意図している。

エ 「藤の花が咲く上に紫の雲がかかっているのが見えるが、このような珍しい現象を見られる高貴な家はどの家なのだろうか」という意味の和歌であり、藤の花が象徴する帝と、紫の雲が象徴する道長一族の、末永いかかわりを暗示する意図が込められている。

オ 「美しい藤の花が雨を降らせる紫の雲のように見える。慈雨によって藤の花が咲き誇ることは、どのような素晴らしい方の居場所なのだろうか」という意味の和歌であり、藤の花のように美しい彰子が、帝から深く寵愛され続ける未来を予言する意図が込められている。

(6) 本文の内容について説明したものとして最も適切なものはどれか。ア〜オから一つ選べ。

ア 彰子が自ら屏風を用意し、そこに貼る色紙形に歌人たちの和歌を集めて書かせた際、彰子に命じられた四条大納言は、美しく咲く藤の花が描かれた一面に書く和歌を担当した。

イ 屏風に貼る色紙形に和歌を書きつける役を命じられていた能書の権大納言行成がなかなか参上しなかったため、道長は待ちかねて何度も使いを出し、参上を急がせた。

ウ 誰も和歌を詠めずにいる状況の中、せめて四条大納言の和歌だけでも色紙形に書かなければ屏風が完成しないと思った道長は、心を込めて四条大納言を説得した。

エ たいそう思い悩んだ四条大納言が、陸奥紙に和歌を書いて差し出したところ、道長はその紙を広げて前に置き、帥殿が四条大納言の和歌を読み上げた。

オ 自分の和歌が賛否を生んだ状況に対し、道長をはじめとする人々が不服そうにしている様子を見た四条大納言は、自信を失って落ち込んでしまった。

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…文学テキスト入門

前田愛著 筑摩書房

44ページ13行目から48ページ5行目まで

（前田愛『文学テキスト入門』より）

〔注〕

リゴリズム

― 厳粛主義、厳格主義。

(1) 〓 部A、Bのカタカナを漢字になおせ。

(2) 〓 部①とあるが、ここで「演劇」の時代よりも「小説」の時代のほうが新しいものとされているのは、逍遙が「演劇」と「小説」との関係をどのようにとらえているからか。筆者の考えに即して、六十五字以上七十五字以内で説明せよ。

(3) 〓 部②について説明したものとして、最も適切なものはどれか。ア～オから一つ選べ。

ア 自分と切り離された対象を観察し、それについてのあらゆる言説を取り払った一つのかたちをニュートラルに記述すること。

イ 模写あるいは傍観によって対象についてのさまざまな言説を蒐集し、それらをつなぎ合わせて小説を構成しようとする事。

ウ 見る人と見られるものを切り離し、模写あるいは傍観しながら分類することで、対象についてのあらゆる言説を蒐集すること。

エ 対象についてのあらゆる言説を視線に訴える形で記述することで、外からは見えないはずの内面をも描き出そうとすること。

オ ニュートラルな記述によって博物誌的な引用のモザイクを否定することで、対象についてのあらゆる言説を取り払うこと。

(4) 逍遙が「人情」と「小説家の努」の関係について述べた内容として、最も適切なものはどれか。
ア 才から一つ選べ。

ア 「人情」とは、これまで人間特有のものとしてしか描かれてこなかった欲求をさし、今後、人間のみならず動物のそれをも積極的に描き出すことこそが「小説家の努」である。
イ 「人情」とは、情欲や煩悩のさらに奥の未知なる人間心理であり、『八犬伝』で「仁義」という情欲を描くにとどまった馬琴は、「小説家の努」を果たしたとはいえない。
ウ 「人情」とは、情欲の動物である人間が抱く避けがたい情欲をさし、これまで歴史や伝記においてほとんど描かれなかったそれを描き出すのが「小説家の努」である。
エ 「人情」とは、賢人君子を除いたすべての人間が抱く複雑な情欲や煩悩であり、その奥を余すところなく描き出して見えるようにすることが「小説家の努」である。
オ 「人情」とは、人間の思想をさし、『八犬伝』において「仁義」に基づき行為する登場人物を描いた馬琴は、不十分ながら「小説家の努」を果たしていたといえる。

(5) — 部③とあるが、筆者がこのように考える理由として、最も適切なものはどれか。
ア 才から一つ選べ。

ア 逍遙自身は十分に理解していなかったが、彼の主張に内在する、観念や思想に対抗しそれを食い破る欲望のエネルギーは、儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義と対立してその克服をめざす言説の源流にあるものだといえるから。
イ 逍遙は小説において人間の欲望を解放し、それまで支配的であった儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義のような観念や思想と対立させたが、当時の人々にこういった考え方が浸透することはなかったため、時代を先取りしすぎたといえるから。
ウ 逍遙は、人間の内面を観念や思想と欲望、情熱、情欲に分類していたものの、その対立関係までは十分につかみきれなかったことから、儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義を乗り越える可能性はあったもののそれを果たしたとは言えないから。
エ 人間を内部と外部に区分した逍遙の規定は、デカルトの心身二元論以降の近代思考の伝統を汲むものではあるが、それを克服した儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義、明治の欲望自然主義についての十分な理解にまで至ることはなかったから。
オ 本来は観念や思想を表す人情という言葉的欲望のエネルギーの意味で用いた逍遙の理解は、儒教イデオロギーのリゴリズムや禁欲主義の系列にあるとはいえるものの、その先にあ

(6) 明治時代の文学について述べた内容として、最も適切なものはどれか。ア～オから一つ選べ。

ア 坪内逍遙は写実主義を提唱して『当世書生気質』を著し、二葉亭四迷は言文一致体で『浮雲』を著した。

イ 坪内逍遙は浪漫主義を確立して『当世書生気質』を著し、二葉亭四迷は言文一致体で『浮雲』を著した。

ウ 坪内逍遙は写実主義を提唱して『当世書生気質』を著し、二葉亭四迷は雅俗折衷体で『浮雲』を著した。

エ 坪内逍遙は浪漫主義を確立して『当世書生気質』を著し、仮名垣魯文は言文一致体で『安愚楽鍋』を著した。

オ 坪内逍遙は写実主義を提唱して『当世書生気質』を著し、仮名垣魯文は雅俗折衷体で『安愚楽鍋』を著した。

